

季刊 青春本棚通信

vol. 1 2



青春本棚にある
ひとことカードの
掲示板の一部です。

投稿ありがとう！
これからもどんどん
投稿待ってます♪

青春☆POPや
表紙イラストも
募集中！（投稿方法は
最終ページを見てね）



LINEUP

『ビブリオバトル@テーブル2019』を開催します！

知識書評合戦！ビブリオバトルってどんなもの？

秋には本番だ！第6回松山市立図書館ビブリオバトル！！

本好きのコーヒースタイル

青春ひとことLINE

青春☆POP便

図書館イベントのご案内

図書館ダンジョン・エクスプローラー

メディアミックス読書推進委員会

図書館投稿のススメ



2019

夏

おまちかね★来たる夏休みの図書館恒例企画 『ビブリオバトル@テーブル2019』を開催します！

夏休み中の8月21日(水曜日)に、お気に入りの本を紹介しあう**ビブリオバトル**を少人数形式で開催します。通常のビブリオバトルと違って5人1組でテーブルを囲み、観客もいません。**和やかな雰囲気**で**@(アット)ホームに楽しめます**。ビブリオバトルを知らなくても大丈夫！初めての人は入門編として、知っている人は秋の図書館ビブリオバトルの前哨戦として、どなたもお気軽にご参加ください。あなたの“オススメの1冊”をみんなに紹介してみませんか？**図書館見学も予定しています！**

フリーテーマだから
マンガやライトノベルでも大丈夫！当日に発表する本を持ってきてね！

日時：8月21日(水) 午後2時～3時

場所：松山市立中央図書館 2階文化活動室

対象：中学生・高校生（ご一緒に保護者や学校の先生も参加できます）

定員：10名程度（先着順）

申込期間：7月9日(火)～8月14日(水)

申込方法：中央図書館の窓口、FAXもしくはEメールにて、
氏名・学校名(学年)・連絡先・発表する本をご連絡ください。

申込・問い合わせ先は
次のページまで♪



ワガハイが『ビブリオバトル』について教えるゾ！
学生も先生も、みんなで楽しめるゲームなのジャ！

知的書評合戦！ ビブリオバトルってどんなもの？

“人を通して本を知る。本を通して人を知る”
がキャッチコピーの『ビブリオバトル』は、子どもから大人まで誰でも参加して楽しめる**「本の紹介コミュニケーションゲーム」**です。

本を紹介する人＜**バトル**＞が読んで面白いと思った本を持ち寄り、参加者全員に本の感想や魅力について熱く語ります。参加者と質問のやり取りをした後に「どの本が一番読みたくなったか」という投票を全員で行い、一番多くの票を集めた本が**「チャンプ本」**となります。

2007年に京都から生まれた『ビブリオバトル』は、今では日本中に広まり、学校、会社、友人、見知らぬ人などあらゆる人が参加し、いろんな場所で催されています。



ビブリオバトルオススメ本



『翼を持つ少女 BISビブリオバトル部』（山本 弘//著・東京創元社）
【分類番号：F-ヤヒ】

ビブリオバトル公式ルール

1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合！



本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。(コミックや雑誌はNGなど)大事なのは、必ず自分が読んで選ぶこと！

2. 開戦！順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。



バトラーの持ち時間は厳守！5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負！原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ。バトラーのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ！



3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション(質疑応答)します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか？」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります！

全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと！



ビブリオバトルは楽しいだけではないゾ！

短時間に思いをまとめるプレゼン能力もきたえられるのじゃ！本を紹介した友だちの新たな一面を発見してコミュニケーションのきっかけにもなる！紹介された新しい本との出会いもあるゾ！良いことづくめジャナ！！



祭

秋には本番だ！ 第6回松山市立図書館ビブリオバトル！！

毎年恒例の『松山市立図書館ビブリオバトル』を、10月27日(日曜日)に開催します。

発表参加者は、中学生または高校生限定！一般の観衆の前で発表し、観衆を含めた参加者全員の投票によってチャンプ本を決める本格的なビブリオバトルです。

『ビブリオバトル@テーブル』に参加してイメージをつかみ、『図書館ビブリオバトル』でチャンプ本獲得を目指そう！チャンプ本獲得者にはチャンプ特典が与えられます！

前回は「図書館で購入する本を20冊選べる権利」でした！ぜひお申込みください！

日時：10月27日(日) 午後1時～(予定)

場所：松山市湊町7丁目5 松山市総合コミュニティセンター1階展示室

対象：松山市内在住または在学の中学生・高校生

定員：中学生の部・高校生の部 各部6名程度(応募多数の場合は抽選)

申込期間：9月14日(土)～10月19日(土)

申込方法：中央図書館事務所までFAXまたはEメールで氏名・連絡先・学校名(学年)・発表本をご連絡ください。個人・学校からの申込どちらでもOKです。



【ビブリオバトル@テーブル・松山市立図書館ビブリオバトルのお申込・問合わせ先】

中央図書館事務所 ビブリオバトル担当(※Eメールは件名に各イベント名を入れてね)

電話：943-8008 FAX：933-9968 Eメール：tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp

若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを——

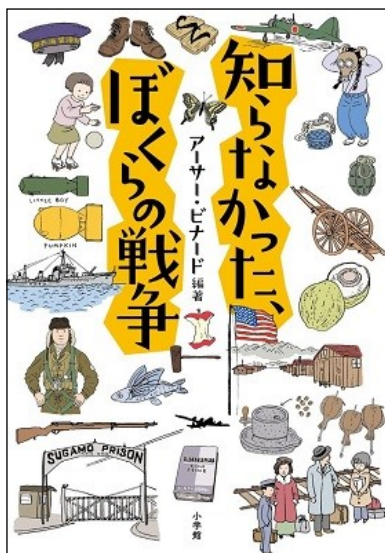
オトナたちが選ぶ『これからの夏に読んでもらいたい本』

本好きのコーヒースタイル



決して歴史教科書には載らない一人ひとりのものがたり

『知らなかった、ぼくらの戦争』（アーサー・ビナード//編著・小学館）



【分類番号：210.75-ヒ】

作者は広島在住のアメリカ人、1967年生まれの人。日本でよく耳にする「戦後〇年」。この言葉が通用するのはもしかしたら日本だけかもしれない。

ビナードさんが生まれた1967年はベトナム戦争の真っ最中。それ以前には朝鮮戦争もあったし、平成に入って中東での湾岸戦争が起こるなど、**日本人は平和を享受してきたこの74年間に、世界のどこかで戦争があった。**

そんな先人たちの「戦争体験」を聞こうとマイク片手に**23名の日本人**に取材してラジオ番組を作り、まとめたのがこの本。

軍国少女だったという義母に始まり、真珠湾攻撃のパイロット、硫黄島の生還者、在米日系人、満州引き揚げの漫画家ちばてつや、映画「火垂るの墓」の高畑勲監督……いずれも青春真っ只中が戦争中だった方々だ。

決して歴史教科書には載らない、体験者一人ひとりの**真実のものがたり**。
どうか令和の時代が「戦前」と呼ばれることはありませんように……

図書館 藤原

いつも本気なひと。

『天才棋士加藤一二三挑み続ける人生』（加藤 一二三//著・日本実業出版社）



【分類番号：796.021-カ】

テレビでおなじみ「**ひふみん**」こと、元棋士、加藤**ひふみ**一二三さんのエッセイ集。将棋を知っている人も、ぜんぜん知らない人もおもしろく読めます。

加藤さんの、**厳しい勝負の世界で長く生きてきた人ならではの**、深い言葉、興味深いエピソードが満載です。（将棋界で14～77歳まで現役だった人は加藤さんだけ！）とにかく、加藤さんの語り口が率直・ひたむきでわかりやすい。

テレビで見るあの独特なキャラクターは皆さんご存知の通りですが、やっぱり加藤さんはすごい棋士で、天才ばかりの将棋の世界にあってなお**“神武以来の天才”**（世の中がはじまって以来の天才という意味）と呼ばれ、大きな記録をいくつも作ったレジェンドです。

加藤さんはこの本の中で、これまで戦った名棋士たちとの勝負や、テレビの仕事から学ぶこと、また家族・子育て等々、色々なことに触れています。**どこから読んでも、楽しく、ちょっと元気の出る一冊です**。ぜひ図書館で手に取ってみてください。

図書館 渡部